

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

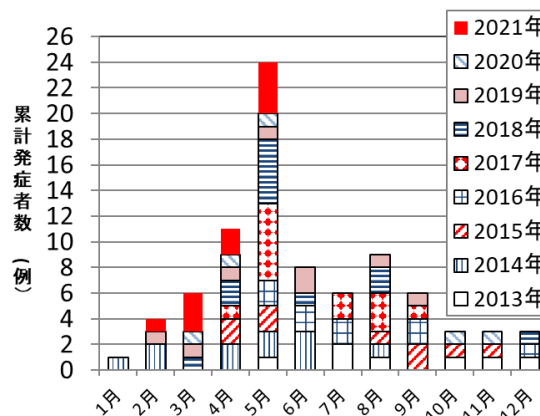
(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口があった。県内での報告数は、累計84例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	34	18	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が14例あり、2021年の累積報告数は2,178例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。

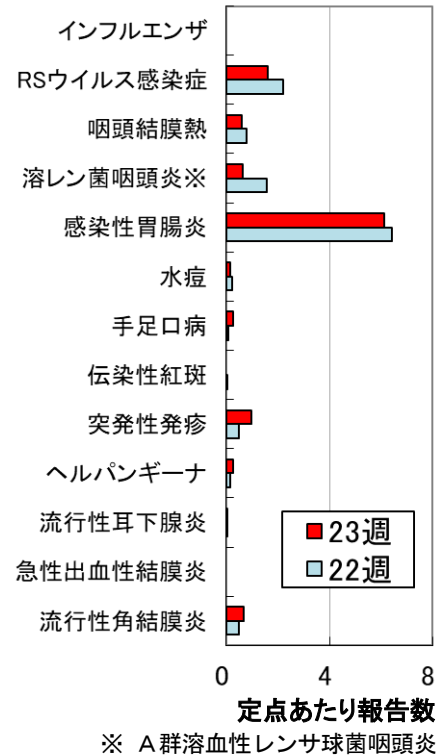
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例。5類感染症：梅毒3例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	肺結核	なし
		都城	80歳代	女	肺結核及び結核性胸膜炎(疑い)	発熱
		延岡	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、下痢、血小板減少、白血球減少、刺し口
	日本紅斑熱	高鍋	80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	口の周りに発赤のみあり
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		延岡	60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	丘疹性梅毒疹

新型インフルエンザ等感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群					症状
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	5例	1	1		2	1	発熱、咳、全身倦怠感等
	都城	9例	2	2	2	3		

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は389人(定点当たり11.4)で、前週比90%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

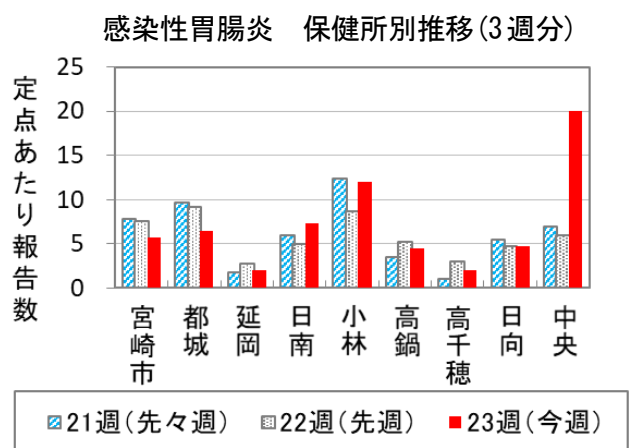
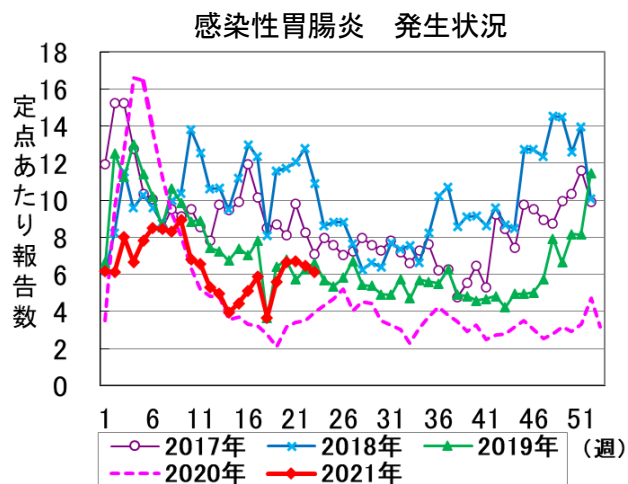
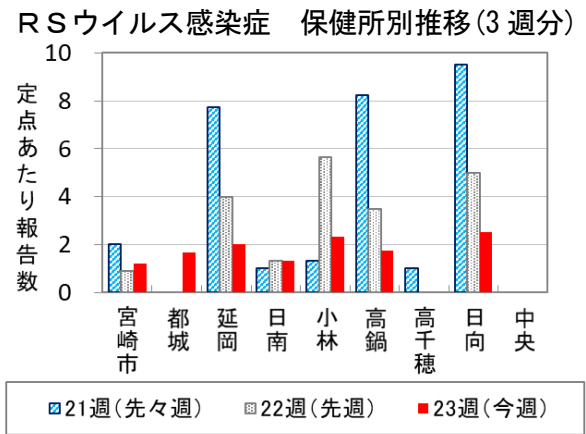
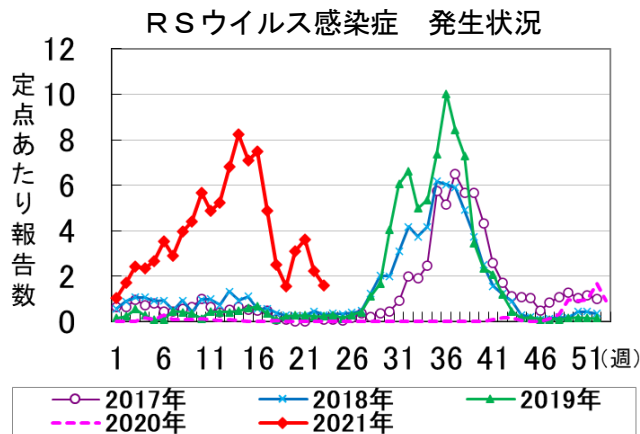
【RSウイルス感染症】

報告数は58人(1.6)で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.20)の約8.1倍であった。日向(2.5)、小林(2.3)、延岡(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月～3歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は221人(6.1)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(7.3)の約0.8倍であった。中央(20.0)、小林(12.0)、日南(7.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(20.0)

※流行警報レベル開始基準値※
・感染性胃腸炎(20)

🇯🇵 全国 2021 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	225 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	44 例				
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	3 例	日本紅斑熱	8 例	レジオネラ症	57 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘(入院例)	2 例	梅毒	98 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4 例	百日咳	4 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

R S ウイルス感染症の報告数は 8,046 人(2.6)で前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.18)の約 14.4 倍であった。山口県(11.7)、福井県(9.6)、石川県(8.4)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 1,250 人(0.40)で前週比 105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.66)の約 0.6 倍であった。新潟県、鹿児島県(1.2)、沖縄県(0.94)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2021年5月>

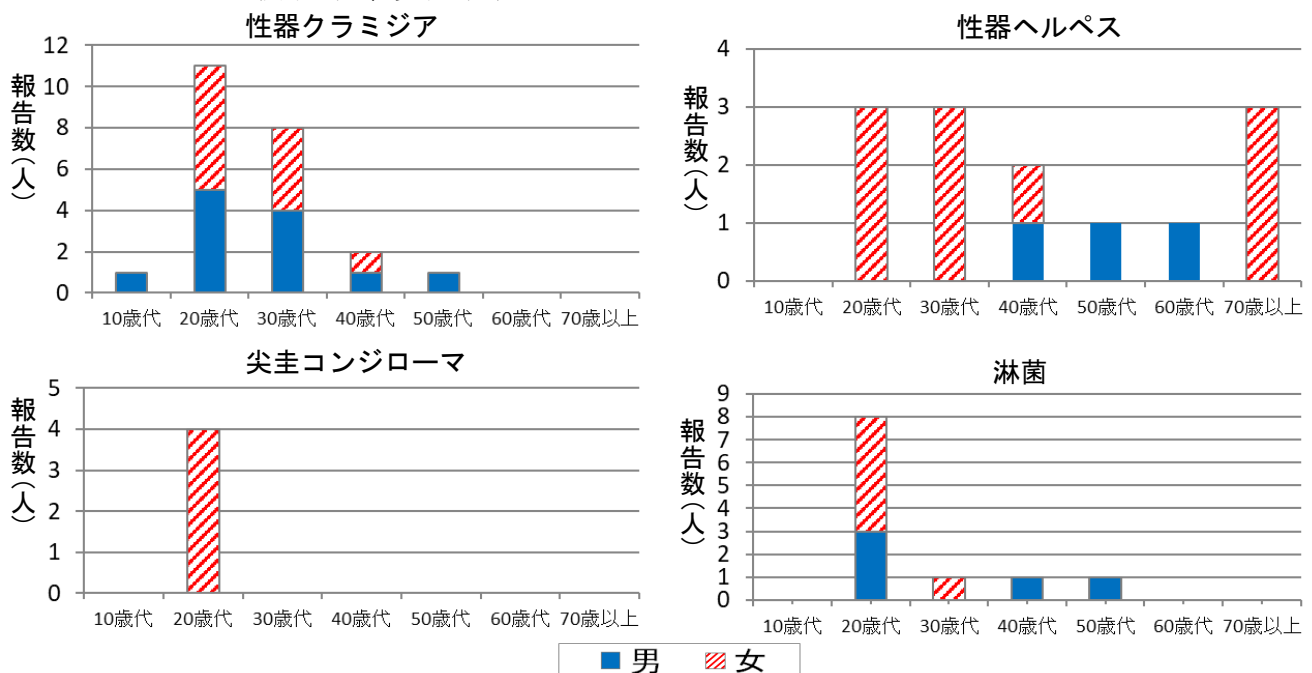
性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は51人(3.9)で、前月比232%と増加した。また、昨年5月(2.6)の150%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月の約1.8倍、昨年5月の約1.5倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性12人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数13人(1.0)で、前月の約2.6倍、昨年5月の約1.2倍であった。(男性3人、女性10人)
- 尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月の約1.3倍、昨年5月の2.0倍であった。(女性4人)
- 淋菌感染症：報告数11人(0.85)で前月の約11.0倍、昨年5月の約1.8倍であった。(男性5人、女性6人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,479人(4.6)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,470人(2.5)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症696人(0.71)で前月比100%、尖圭コンジローマ482人(0.49)で前月比96%、淋菌感染症831人(0.85)で前月比94%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人(1.9)で、前月比77%と減少した。また、昨年5月(2.1)の87%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数13人(1.9)で、前月の約0.8倍、昨年5月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,181(2.5)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,079人(2.3)で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症89人(0.19)で前月比127%、薬剤耐性緑膿菌感染症13人(0.03)で前月比150%であった。

疾病名	第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	80	58	12	10	8	4	7	7	10	
	定点当り	2.22	1.61	1.20	1.67	2.00	1.33	2.33	1.75	0.00	2.50
咽頭結膜熱	報告数	29	21	6	5	2		5		3	
	定点当り	0.81	0.58	0.60	0.83	0.50	0.00	1.25	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	57	23	5		9	5	1		1	2
	定点当り	1.58	0.64	0.50	0.00	2.25	1.67	0.00	0.25	0.00	0.25
感染性胃腸炎	報告数	232	221	57	39	8	22	36	18	2	19
	定点当り	6.44	6.14	5.70	6.50	2.00	7.33	12.00	4.50	2.00	4.75
水痘	報告数	8	6	1	1	1	2	1			
	定点当り	0.22	0.17	0.10	0.17	0.25	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	9	1	1		3			4	
	定点当り	0.08	0.25	0.10	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	2									
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	35	11	7	2	4	5	6		
	定点当り	0.50	0.97	1.10	1.17	0.50	1.33	1.67	1.50	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	10	1	3	6					
	定点当り	0.17	0.28	0.10	0.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2	1				1			
	定点当り	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	4	2	2						
	定点当り	0.50	0.67	0.67	1.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～23週)

2類感染症	結核	55例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	10例(1)
	日本紅斑熱	6例(1)	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	3例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	45例(3)
	破傷風	2例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	2178例(14)		

()内は今週届出分、再掲